令和5年度 授業改善推進プラン

担当教科 (国語) 学年 (1 学年)

学力調査・アンケート等の課題分析

質問調査では「板書や資料(プリント・ワークシートや教材)がわかりやすい。」と答えた生徒が100%であるのに対し、「『学ぶ楽しさ』を感じる。」と答えた生徒は約85%である。

授業等の課題分析

板書や資料の内容については満足のいくものであるが、「学ぶ楽しさ」を実感させることについては、 改善の余地がみられる。板書や資料以外の部分で改善していくことが必要である。



目指す授業

「学ぶ楽しさ」を実感させる授業。



授業改善のための具体的な方策

・授業内容と生徒自身の身のまわりのこととを結びつけ、国語の授業がより身近なものであることを理 解

させる。

- ・教員の実体験に基づいた内容を授業内容と結び付けることで、授業に対する関心を高める。
- ・授業目標をわかりやすく示し、授業で学ぶことを明確にさせることで目的意識を高める。
- ・授業の振り返りを丁寧に行うことで、「わかった」という意識を高め、「わかる」楽しさを実感させる。

令和5年度 授業改善推進プラン

担当教科 (国語) 学年 (2 学年)

学力調査・アンケート等の課題分析

授業アンケートの結果から、「授業の最後に学習内容を振り返る場面がある。」、「『学ぶ楽しさ』を感じる。」と答えた生徒は約80%で、他の項目と比べ少ない。

授業等の課題分析

- ・授業の最後に、学習内容を分かり易く振り返る必要がある。
- ・「学ぶ楽しさ」を感じさせるために、授業内容の工夫が必要である。



目指す授業

- ・授業の振り返りで、達成感や成就感を実感させる授業。
- ・体験的な学習を充実させ、日常生活とのつながりを意識させる授業。



授業改善のための具体的な方策

- ・授業目標や本時の課題が身近な体験と関連していることを実感させ、授業目標を分かり易く提示する。
- ・教員の実体験に基づいた内容を授業内容と結び付けることで、授業に対する関心を高める。
- ・授業目標に対して達成度や成就感を評価することで、授業内容を振り返る。
- ・授業の振り返りを丁寧に行うことで、「わかった」という意識を高め、「わかる」楽しさを実感させる。

令和5年度 授業改善推進プラン

担当教科 (国語) 学年 (3 学年)

学力調査・アンケート等の課題分析

授業アンケートの結果から、「授業の最後に学習内容を振り返る場面がある。」、「『わかった』 『できた』 と感じる機会があり、分かりやすい。」、「『学ぶ楽しさ』を感じる。」と答えた生徒は75%で、他の項目と比べ少ない。

授業等の課題分析

- ・授業の最後に学習内容を分かり易く振り返る必要がある。
- ・授業の最初に前時の授業内容を振り返り、学習内容を定着させる必要がある。
- ・「学ぶ楽しさ」を感じさせるために、授業内容の工夫が必要である。



目指す授業

- ・授業の振り返りで達成感や成就感を実感させることで、意欲的に学習に取り組める授業。
- ・学習内容と日常生活とのつながりを意識させることで、知識を得ることの楽しみが感じられる授業。
- ・授業の振り返りを丁寧に行うことで、「わかった」という意識を高め、「わかる」楽しさを実感させる授 業。



授業改善のための具体的な方策

- ・授業目標に対して達成度や成就感を評価することで、授業内容を振り返る。
- ・振り返った学習内容が、日常場面でどのように応用されているのか説明を行う。
- ・教員の実体験に基づいた内容を授業内容と結び付けることで、授業に対する関心を高める。
- ・授業の振り返りを丁寧に行うことで、「わかった」という意識を高め、「わかる」楽しさを実感させる。
- ・授業最後の振り返りを次時につなげるために、次時の冒頭で再度、振り返りを行う。